

# 令和 7 年度 事業計画書

社会福祉法人中蒲原福祉会

〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽2丁目6番1号

TEL 025-382-8251

FAX 025-382-8252

## 目 次

はじめに .....	1
1 法人の基本理念、基本方針 .....	1
2 法人の重点目標 .....	2
3 法人が運営する事業 .....	3
4 職員配置 .....	6
5 業務委託等 .....	7
6 苦情解決 .....	8
7 情報公開 .....	8
8 新規事業 .....	8
特別養護老人ホーム向陽の里 事業計画書 .....	9
特別養護老人ホーム横雲の里 事業計画書 .....	10
特別養護老人ホームこすど蒼丘の里 事業計画書 .....	11
特別養護老人ホームなかかんの里 事業計画書 .....	12
特別養護老人ホームかめだ本町の里 事業計画書 .....	13
特別養護老人ホームにこやか 事業計画書 .....	14
ショートステイかめだ早通の里 事業計画書 .....	15
デイサービスセンター第2 蒼丘 事業計画書 .....	16
デイサービスセンターリハフィットこうよう 事業計画書 .....	17
グループホームこうよう 事業計画書 .....	18
障害者支援施設あさひ園 事業計画書 .....	19
障害福祉サービス事業フルールこすど 事業計画書 .....	20
障害福祉サービス事業わかばの家 事業計画書 .....	21
障害福祉サービス事業ネクサス・わかば 事業計画書 .....	22
障害福祉サービス事業メイプルかめだ 事業計画書 .....	23
障害福祉サービス事業メイプル・ぷらす 事業計画書 .....	24
地域活動支援センターかめさん 事業計画書 .....	25
四つ葉こども園 事業計画書 .....	26
地域子育て支援センターにこっと 事業計画書 .....	27

## はじめに

社会福祉法人中蒲原福祉会は平成 8 年に法人認可を受け、平成 9 年に県内初の特別養護老人ホーム向陽の里と身体障害者療護施設あさひ園の合築施設を開設して以来、幅広い事業展開をしながら地域に密着した社会福祉事業を運営して今日に至っている。

令和 7 年度は継続課題である「人財の育成」、更に「職員の確保」を最重要課題とし、昨年度作成したキャリアパスを職員に浸透させる。

## 1 法人の基本理念、基本方針

### 法人基本理念

「すべての人の笑顔と信頼のために」

- ・当法人に関わるご利用者・ご家族・地域住民・職員等全ての人が笑顔になれるように、当法人に関わる全ての人から信頼を得て、地域になくってはならない法人となることを目指す。

### 法人基本方針

「連携と協調」

- ・一人ひとりのご利用者を、法人内外、職種問わず関係者・全職員で支えていくこと。

「誠実さと思いやり」

- ・当法人は公設民営で設立され、実直（まじめ）で誠実な運営を行っている。職員も同様に自らの利害にとらわれず、関わる全ての人に対して誠実であること。
- ・ご利用者やご家族、他の職員に対して、相手の気持ちに思いを巡らせ心を寄せてサービスを行っていくこと。

「公正な評価と待遇」

- ・「職員満足がなければご利用者満足はない」との考えのもと、一生懸命ご利用者や法人のために貢献をする職員に対して、公正な評価を行いそれに見合った待遇をすること。

## 2 法人の重点目標

### 1 職員確保と人財育成

ホームページの改修を行い求職者に対して現在の求人情報をわかりやすく提示することで、タイムリーに情報発信して採用に繋げる。また、様々な求人媒体を通じて募集することにより、職員が不足することのないように努める。新卒採用についても例年通り最大限採用できるよう、学校との連絡を密にして就職説明会やインターンシップ等の採用活動を行う。

厚労省の調査によると 2040 年には 57 万人介護職員が不足する予測となっている。これに対応するため外国人労働者を計画的に採用する。どの国が良いかは情勢により変動するため、情報収集しながら定期的に労働力を確保していく。

昨年度完成したキャリアパスにより職場における職員一人ひとりの役割が明確になった。引き続きキャリアパスに沿った研修体系の構築に取り組み、研修やフィードバックを通じて法人が必要とする人財へと育成する。更に職種・職位ごとに必要な資格や研修項目を定めて、核となる人材を養成してから配属することで組織力を強化する。

### 2 労働環境の改善

労働環境の改善に努め職員が働きやすい職場作りをして離職率の更なる低下を目指す。具体的には、問題が起きた時に上司に相談しやすい雰囲気を醸成することで、上司が素早く問題を把握して事が大きくなる前に解決する。上司も部下の様子を観察して声をかけたり面談したりすることで本人の悩みを軽減する。

就業規則には、あらゆるハラスメントの防止を盛り込んでいるが、最近話題となっているカスタマーハラスメントについても指針やマニュアル作成を検討する。

### 3 業務改善による効率化

生産性の向上は加算の対象となり業務を行う上で必須となっている。今まで漫然とやっていた業務を取捨選択し、やり方を見直して不要な業務を止めることにより生産性を向上する。また情報機器や見守り機器等を積極的に導入したり介護補助員を採用したりすることで、それぞれの職員が本業以外にかかる時間を節約し専門的な業務に専念できる体制を構築する。

情報機器に関しては、GoogleWorkspace システムによる情報共有が軌道に乗り、施設を超えて同職種や関連するメンバーの情報共有が素早く行えるようになっている。また、令和 6 年度に導入した雇用管理システムを更に普及させて、職員からの申請等をタイムリーに処理し事務処理に係る時間を減らしていく。

### 3 法人が運営する事業

法人本部
1 介護職員等による喀痰吸引等研修 定員 20 人
特別養護老人ホーム向陽の里
1 介護老人福祉施設 定員 80 人 2 短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業 定員 16 人 障害福祉サービス事業（短期入所・空床利用型） 3 通所介護事業 定員 28 人 介護予防通所介護相当サービス事業 共生型生活介護事業（障がい者向けデイサービス・空床利用型） 4 居宅介護支援事業 5 生活援助員派遣事業亀田向陽住宅（新潟市委託事業）
特別養護老人ホーム横雲の里
1 介護老人福祉施設 定員 50 人 2 地域密着型介護老人福祉施設 定員 20 人 3 短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業 定員 49 人 障害福祉サービス事業（短期入所・空床利用型） 4 通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業 定員 40 人、土曜・日曜 30 人 共生型生活介護事業（障がい者向けデイサービス・空床利用型） 5 居宅介護支援事業
特別養護老人ホームこすど蒼丘の里
1 介護老人福祉施設（定員 70 人） 2 短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業 定員 20 人 障害福祉サービス事業（短期入所・空床利用型） 3 通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業 定員 35 人、日曜 30 人 共生型生活介護事業（障がい者向けデイサービス・空床利用型） 4 居宅介護支援事業
特別養護老人ホームなかかんの里
1 介護老人福祉施設 ユニット型：定員 60 人、従来型：定員 40 人 2 短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業 定員 20 人 障害福祉サービス事業（短期入所・空床利用型）
特別養護老人ホームかめだ本町の里
1 地域密着型介護老人福祉施設 定員 29 人 2 短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業 定員 10 人 3 訪問介護事業

<p>介護予防訪問介護相当サービス事業 居宅介護・重度訪問介護事業（障がい者向けホームヘルプサービス）</p>
特別養護老人ホームにこやか
<p>1 地域密着型介護老人福祉施設 定員 29 人 2 短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業 定員 10 人 3 通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業 定員 25 人、土曜 20 人</p>
ショートステイかめだ早通の里
<p>1 短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業 定員 48 人 障害福祉サービス事業（短期入所・空床利用型）</p>
デイサービスセンター第 2 蒼丘
<p>1 通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業 定員 25 人、月曜～土曜 2 生活援助員派遣事業小須戸大川前住宅（新潟市委託事業）</p>
デイサービスセンターリハフィットこうよう
<p>1 通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業 定員 35 人</p>
グループホームこうよう
<p>1 認知症対応型共同生活介護 予防介護含む定員 9 人</p>
障害者支援施設あさひ園
<p>1 施設入所支援・生活介護事業 定員 20 人 2 短期入所事業 定員 4 人 3 日中一時支援事業 定員 4 人</p>
障がい福祉サービス事業フルールこすど
<p>1 生活介護事業 定員 20 人 2 就労継続支援 B 型事業 定員 35 人 3 相談支援事業</p>
障がい福祉サービス事業わかばの家
<p>1 生活介護事業 定員 14 人 2 就労継続支援 B 型事業 定員 45 人 3 日中一時支援事業 定員 6 人 4 相談支援事業 （新潟市指定特定相談支援事業、新潟市委託障がい者（児）等相談支援事業）</p>
障がい福祉サービス事業ネクサス・わかば
<p>1 生活介護事業 定員 40 人 2 就労継続支援 B 型事業 定員 20 人</p>

3 短期入所事業 定員 12 人
4 放課後等デイサービス事業 定員 10 人
障がい福祉サービス事業メイプルかめだ
1 就労移行支援事業 定員 7 人
2 就労継続支援 B 型事業 定員 40 人 主たる事業所（本館）25 人、従たる事業所（2 号館）15 人
3 自立訓練（生活訓練） 定員 13 人
4 日中一時支援事業 定員 3 人
5 就労定着支援事業
6 グループホーム事業定員 14 人（男性 7 人＋女性 7 人）
障がい福祉サービス事業メイプル・ぶらす
1 就労継続支援 A 型事業 定員 15 人
2 就労継続支援 B 型事業 定員 37 人
地域活動支援センターかめさん
1 地域活動支援センターⅢ型事業 定員 20 人
2 サポート相談事業
四つ葉こども園、地域子育て支援センターにこっと
1 保育所型認定こども園 定員 115 人（1 号 15 人、2・3 号 100 人）
2 一時預かり事業（拠点園）
3 地域子育て支援拠点事業

## 4 職員配置

非常勤職員の配置や業務委託をバランスよく取り入れた構成としている。

令和7年4月1日現在

事業所名	常勤	非常勤	派遣	育休 休職	合計
法人本部					
法人本部	8	3	0	0	11
高齢者事業					
特別養護老人ホーム向陽の里	56	26	0	1	83
特別養護老人ホーム横雲の里	64	56	0	2	122
特別養護老人ホームこすど蒼丘の里	56	51	2	2	111
特別養護老人ホームなかかんの里	50	41	1	2	94
特別養護老人ホームかめだ本町の里	24	18	1	0	43
特別養護老人ホームにこやか	24	17	0	3	44
ショートステイかめだ早通の里	22	18	0	2	42
デイサービスセンター第2蒼丘	4	9	0	0	13
デイサービスセンターリハフィットこうよう	5	7	0	0	12
グループホームこうよう	6	4	0	0	10
障がい者事業					
障害者支援施設あさひ園	12	6	0	0	18
フルールこすど	8	19	0	1	28
わかばの家	16	14	0	0	30
ネクサス・わかば	30	29	0	2	61
メイプルかめだ	17	16	0	1	34
メイプル・ぷらす	11	11	0	1	23
かめさん	2	4	0	0	6
保育事業					
四つ葉こども園・にこっと	14	25	0	2	41
合計	429	374	4	19	826



## 5 業務委託等

委託業務	委託業者（敬称略、順不同）
労務	社会保険労務士水戸事務所
会計	会計監査人 あすの監査法人 税理士法人 さくら総合会計事務所
弁護士	顧問弁護士 しなのがわ総合法律事務所
嘱託医	亀田第一病院 森川医院 こうなん family クリニック 片桐医院 押木内科神経内科医院 清野医院 丸山診療所 堀クリニック 吉田医院 こどもの森クリニック
協力病院	亀田第一病院 新津医療センター病院
協力歯科、嘱託歯科	かざま歯科クリニック 三浦歯科医院 小林歯科医院 丸山歯科医院 みゆき歯科医院 枝並歯科クリニック 枝並歯科医院
看護業務、訪問看護	ナースパートナー 訪問看護ステーション tete
給食業務	石本商事 日本フードリンク フルールこすど メイプル・ぷらす
弁当配達業務	わかばの家 ネクサス・わかば かめさん
講師	齋藤 智美
施設清掃、園舎整備	シルバー人材センター ケイクリーンサービス ほほえみ作業所 のびのび フルールこすど わかばの家 ネクサス・わかば メイプルかめだ メイプル・ぷらす

委託業務	委託業者（敬称略、順不同）
洗濯業務	シルバー人材センター フルールこすど メイプル・ぷらす
宿日直業務	シルバー人材センター

## 6 苦情解決

- ・各事業所の苦情解決責任者と苦情受付担当者が、ご利用者およびご家族から苦情を受け付けた際には責任をもって解決する。
- ・年に一度苦情解決第三者委員会を開催して苦情内容を全事業所で共有するとともに、第三者委員からの意見を参考にして事業の改善を図る。委員会で検討した苦情の内容はホームページに公開する。

## 7 情報公開

- ・法律、法令や制度に基づき、経営情報等を公開し、社会福祉法人として運営の透明性を確保する。
- ・公表対象となる事業報告及び決算報告、財務状況の分かる書類等は主たる事務所等に備え置くとともに、必要なものはホームページで公開しいつでも閲覧できるようにする。

## 8 新規事業

- ・保育事業の拡大を目指し、他法人との吸収・合併の基本合意並びに合併契約書の締結に向けて準備を進める。

# 特別養護老人ホーム向陽の里 事業計画書

## 1 施設の基本方針

『利用者と職員が一緒に喜び楽しむ「まんぷく」生活』

ご利用者が自分らしい生活を継続でき、心地良い気持ちで過ごしていただく事で、心の「まんぷく」を感じていただけるように努める。苦楽をともにしながら思いを共有し、笑顔と心のこもったホスピタリティあふれる接遇を行う。

## 2 施設の重点目標

### ・働きやすい職場づくり

コミュニケーションを大切にし、お互いの立場や考えを理解し合い、話しやすく相談しやすい雰囲気作りと風通しの良い環境、お互いを称賛し合える風土を作る。それにより、チーム力の向上や生産性の向上につなげていく。また、職員が気持ちに余裕をもち、個々に与えられた役割に応えられるよう努め、質の高いサービスを継続的に提供していく。

## 3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
特養（従来）	80 人	96.0%	76.8 人／日	特養と短期入所を併せて 95%以上
短期入所	16 人	92.0%	14.7 人／日	
通所介護	28 人	75.0%	21.0 人／日	
居宅介護	220 人	80.0%	176 件／月	ケアマネ 5 人

居宅の定員はケアマネ 1 名あたり月 44 件とした件数

## 4 その他

- ・老朽化にともない、設備等の修繕や入れ替えを計画的に行う。
- ・向陽園の建物の劣化、構造的な支援の不便を解消するため、部分的なリフォームを行う。
- ・感染予防や健康状態の維持に努める。

# 特別養護老人ホーム横雲の里 事業計画書

## 1 施設の基本方針

「すべては利用者の笑顔のために」

自立支援の観点から、ご利用者ができるだけ心身の自立した日常生活を営むことができるよう、ご利用者ができることとできないことをしっかりと見極め、できるところを更に伸ばし、できないところの援助・支援を行っていく。そのために各部署の情報交換を活発に行い、横のつながりを強化し、適切なサービスの提供に繋げる。

## 2 施設の重点目標

・職員の倫理意識と接遇の向上

「接遇・マナーの判断は常に相手がする」ことを忘れず、ご利用者を不快にさせない言葉掛け、接し方を職員同士が意識し合える環境になるよう、各会議やカンファレンスで接遇の振り返りを行う。また、苦情やトラブルを未然に防止するため、困難・問題ケース等があれば施設全体で情報共有をした上で対策を講じ、苦情が発生した場合は速やかに説明及び謝罪を行う。その他、接遇やケアに関して問題事案が発覚した時は、再発防止のため、注意指導の対応を迅速かつ適切に行い、虐待や拘束を含めた不適切なケアと言動を抑制する。

## 3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
特養（従来）	50 人	96.0%	48.0 人／日	
特養（地域密着）	20 人	95.0%	19.0 人／日	
短期入所	49 人	91.8%	45.0 人／日	
通所介護	40 人	80.0%	30.0 人／日	土・日 30 人
居宅介護	253 件	80.0%	202 件／月	ケアマネ 5.75 人

居宅の定員はケアマネ 1 名あたり月 44 件とした件数（6Hパート 1 名含む）

## 4 その他

・積極的にボランティアの受け入れを開始する。

# 特別養護老人ホームこすど蒼丘の里 事業計画書

## 1 施設の基本方針

「いつまでもその人らしくいきいきと」をモットーに、アットホームな雰囲気作りと、プライバシーが保てるケアを行う。

こすど蒼丘の里を利用される皆様が、提供されるサービスを受けることで、温かい気持ちになれる言葉遣いや気持ちに寄り添い、親しみや敬意を持った対応に努め、ユニット型施設の特徴を活かし、その時々に対応しい介護・家庭的な介護・心に寄り添う介護を施設全職員が提供する。

## 2 施設の重点目標

### ・働きやすい職場づくり

社会人の基本である明るく気持ちの良い挨拶を徹底して行う。また、お互いを認め合い尊重し合うために、他者の批判や噂話はせず思いやりのある良好な関係性を構築し、心地良い雰囲気づくりを行う。介護職員等の負担を減らし、できるだけストレスのない状態で仕事ができるよう環境を整える。

## 3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
特養（ユニット型）	70 人	95.0%	66.5 人／日	
短期入所	20 人	95.0%	19.0 人／日	
通所介護	35 人	77.1%	27.0 人／日	日曜 30 人
居宅介護	220 件	84.1%	185 件／月	ケアマネ 5 人

居宅の定員はケアマネ 1 名あたり月 44 件とした件数

## 4 その他

- ・ボランティアの受け入れを増やす。
- ・ご利用者の重度化に合わせ、生産性向上のため中間浴槽をミスト浴槽に入れ替える。

# 特別養護老人ホームなかかんの里 事業計画書

## 1 施設の基本方針

「思いやり」をモットーにご利用者・職員・地域住民が幸せになる施設をつくる。

思いやりとはご利用者・ご家族・職員など、施設に関わる人々の思いを汲み取りながらサービスを提供することである。

## 2 施設の重点目標

### ・サービスの質の向上

介護職員が本業に専念できるように環境を整え、ご利用者と関わる時間を増やす。認知症チームケアを推進し、接遇の意識改革と介護の質の向上を図る。また、不適切な介護が発生しないように職員の教育、指導を行う。

安全対策担当者が中心となり、イージーミス（防げた事故）をなくし、事故防止に取り組む。また、安全推進者により職員の安全確保（腰痛予防）に取り組む。

## 3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
特養（従来）	40 人	95.0%	38.0 人／日	特養と短期入所を 併せ 95%以上
特養（ユニット）	60 人	95.0%	57.0 人／日	
短期入所	20 人	95.0%	19.0 人／日	

## 4 その他

- ・生活相談員の業務軽減を推進し、稼働率向上につなげる。
- ・ルームエアコン等の清掃を段階的に進める。
- ・地域住民及び近隣福祉施設と防災訓練を実施する。
- ・感染症の状況に応じた外出行事を行う。
- ・感染症の状況に応じた園内面会を行う。（予約のない自由面会を目指す）

# 特別養護老人ホームかめだ本町の里 事業計画書

## 1 施設の基本方針

「スープの冷めない距離」をモットーに距離感を大切にサービス提供を行う。

家庭的な雰囲気の中でサービスを提供しながらも、ご利用者様がお客様であることを忘れることなく、節度と敬意をもって接する。

## 2 施設の重点目標

・安全・安心な継続的介護を行い、地域に貢献する

施設サービスとしては、ご利用者・ご家族の意向を踏まえ、その方らしい生活スタイルで日常生活が送れるよう、多職種が協働して施設計画に基づいたサービスを提供する。

訪問介護としては、ご利用者が可能な限り住み慣れた自宅で自立した生活が送れるよう支援する。また、ご利用者・ご家族の希望を確認しながら、サービスの提供方法等を丁寧に説明する。

居宅介護支援事業所や保健医療サービスまたは福祉サービスと密接に連携することにより地域のニーズを把握し、ニーズに合ったサービス提供を検討していく。

施設サービス・訪問介護いずれもサービス利用の相談があった場合には、ご本人・ご家族の状況を理解し、懇切丁寧な説明を行うことによって、安心してサービス利用できるように支援する。

引き続き、感染症対策に努めご利用者の生活の安定維持を図る。

## 3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
特養（ユニット）	29 人	95.0%	27.6 人／日	
短期入所	10 人	95.0%	9.5 人／日	
訪問介護			650 時間 80 人	月訪問時間 月利用者数

## 4 その他

- ・ボランティアの受け入れを行う等、地域交流を深める。
- ・ご利用者のレクリエーションの充実を図る。
- ・幅広い人財を受け入れ、新人育成に努める。

# 特別養護老人ホームにこやか 事業計画書

## 1 施設の基本方針

『笑顔があふれる空間にしたい「にこやか」に住む人、集う人、働く人…皆が笑顔になれる空間を作ります』

ご利用者にとって生きがいになるような支援を共に探し、ご利用者から選択していただけるような空間作りを目指していく。会話の機会を増やすように心がけ、コミュニケーションを密にし、毎日の生活を笑顔で送れるよう、満足感と安心感のあるサービス提供ができる職員体制を整え、施設づくりを目指していく。

## 2 施設の重点目標

### ・サービスの質の向上

家庭的な雰囲気の中でも、基本的な接遇である挨拶・身だしなみ・丁寧な言葉使いの意識を実践する。また、「ご利用者への同意」「選択の機会の提供」の意識を徹底し、ご利用者本人の意思を尊重する自立支援への考え方を職員皆で共有する。接遇の研修や評価を行い質の更なる向上を目指す。

介護記録システムの効率的な活用と業務改善により、職員の負担軽減と質の良いサービスの提供を図る。

## 3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
特養（ユニット）	29 人	95.0%	27.5 人／日	
短期入所	10 人	93.0%	9.3 人／日	
通所介護	25 人	72.0%	17.5 人／日	

## 4 その他

- ・ボランティアの受け入れをさらに増やす。
- ・地域ボランティアによる喫茶を短期入所と通所介護で開催しているが、特養も感染予防に配慮しながら開催していく。
- ・経年劣化による故障に備え、エアコン等の計画的な入れ替え、修繕を行う。



# ショートステイかめだ早通の里 事業計画書

## 1 施設の基本方針

『「ゆったり笑顔の生活」をモットーに職員一同精一杯支援いたします』

ご利用者やご家族と信頼関係を築き、「ご利用者がいつも笑顔でゆとりある生活」を送ることができるよう支援をする。そのために、職員はコミュニケーションを取り情報を共有する。ご利用者の個々のニーズと意思を尊重し、誠意を持って質の高いサービスを提供する。そして『選ばれる施設』を目指す。

## 2 施設の重点目標

・職員全員に共通する明確なルールを作り生産性の向上につなげる

当日の勤務表の一番上の職員が、その日のかめだ早通の里リーダーとして施設内で起きる出来事・災害等の起こりうる危機について想定し、施設全体を見ながら業務を遂行する。重要度の低い業務や簡略化できる業務があれば、生産性向上のために積極的に改善を図る。ご利用者の権利擁護につながるよう、介護職員等の負担を減らし、できるだけストレスのない状態で仕事ができる環境を整える。「いつでも全員に伝達できるインカムの良さ」を最大限に利用し、更なるコミュニケーションを広げ、職員の体力的・心理的負担の軽減につなげる。また、業務確認表により与えられた役割を認識し、それに応える働き方をする。研修への参加を積極的にして様々な情報を収集し、固定観念にとらわれずあらゆる物事を多角的に考えられる職員の育成を目指す。自分目線から相手目線に変え、職員間の円滑なコミュニケーションを重視し、組織全体の力を高める。

## 3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
短期入所	48 人	95.0%	45.6 人／日	

## 4 その他

- ・ケアワーカーが実施している、当日担当職員が勤務に入るときに「本日のご利用者数と今月の目標」をインカムで当日出勤の職員に伝えることを継続し、ケア会議で目標の達成度を共有する。
- ・職員が帰属意識を持ち、かめだ早通の里に所属していることに誇りを持てるような体制を維持するために、定期面談を継続する。
- ・老朽化しているエアコンの更新工事を行う。
- ・ご利用者を安全に送迎するために、老朽化している送迎車を買替える。

## デイサービスセンター第2蒼丘 事業計画書

### 1 施設の基本方針

「いつまでも住み慣れた地域で」をモットーに、地域で生活するご利用者の方々が、楽しく過ごせる手助けとなるサービスを目指す。

利用される皆様に、第2蒼丘らしいサービスを提供することで、地域での生活を継続でき、安心して過ごしていただけるように、明るく丁寧な言葉遣いを心掛け、環境作りに努める。

### 2 施設の重点目標

- ・一人ひとりに合ったサービスの提供と働きやすい環境作り

「本当に必要とする援助は何なのか」を職員各自が常に考えながら、日々の援助に当たっていく。接遇において丁寧な説明と言葉遣いを徹底し、お互いの自浄作用が機能するように努める。

少数精鋭でサービスが提供できるように各職種の専門業務と日課業務を把握し、業務改善に取り組む。毎月のカンファレンスや定期的な面談を通じ、一人ひとりの意見が業務に反映されることで風通しの良い職場内の雰囲気を作り、人材育成と離職低下に努める。

### 3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
通所介護	25 人	76.0%	19.0 人／日	

### 4 その他

- ・ボランティアの受け入れを積極的に行う。

# デイサービスセンターリハフィットこうよう 事業計画書

## 1 施設の基本方針

「わたしの 1 日」をテーマに、自分で選択し、個性ある 1 日を過ごしていただけるように支援する。

日課の中でもリハビリに重点を置き、理学療法士を中心として、機械を使用した専門的なリハビリを行い、生活に活かせるようなリハビリの実施、また、カラオケやドリンクバー等、ご利用者に合わせたサービス提供を行い、身も心も豊かになる事業所を目指す。

## 2 施設の重点目標

### ・質の高いサービス提供

ご利用者の要望に耳を傾け、満足度の高いリハビリや支援を提供する。職員間でしっかりと情報共有できるよう、お互いに声を掛け合う。また、「丁寧な言葉遣い、元気な挨拶、誠実な対応」を合言葉に心のこもった接遇を実践する。更にお互いの立場や考えを理解し、個々に与えられた役割に応えられるよう努め、チーム力の向上や生産性の向上につなげていく。

## 3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
通所介護	35 人	85.7%	30.0 人／日	

## 4 その他

- ・イベントや行事を行う。
- ・災害時に備え、近隣事業所と連携し相互で訓練に参加する。

# グループホームこうよう 事業計画書

## 1 施設の基本方針

「笑顔ある安心できる毎日」をモットーに、笑顔で寄り添い、お互いに支えあう生活を大切にする。

“その人らしさ”を大切にしながら、ご利用者の気持ちに寄り添い、安心できる信頼関係作りに取り組む。

家庭的な環境の中で、ご利用者、職員共に一人ひとりが役割を持ちながら、笑顔で支えあう生活を目指す。

## 2 施設の重点目標

### ・個別ケアの実践とチームケアの質の向上の促進

個別ケアの実践について、ご利用者一人ひとりの意向や楽しみ、活躍の場を引き出し、個別ケアへの取り組みを強化する。日々の丁寧な関わりを積み重ねることで、ご利用者の安心感や満足度の向上につなげる。（介護計画の作成と実践、ご利用者アンケートでの評価）

ご家族との交流や面談の機会を定期的に設け、グループホームでの生活の様子をより知っていただくことで、安心感や満足度の向上につなげる。（ご家族アンケートでの評価）

チームケアの向上について、職員一人ひとりがスキルアップに向けた課題や目標を設定し、自己研鑽を行うことで、やりがいやチームケアの質の向上につなげる。（個別面談の実施、課題や目標への取り組み）

## 3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
認知症対応型共同生活介護	9人	98.0%	8.8人／日	

## 4 その他

- ・事故・ニアミス報告に対する原因分析や再発予防策に関する取り組みを継続する。
- ・季節感のある食事の提供やご利用者の希望を取り入れた行事を行う。
- ・ボランティアの受け入れや地域交流など、社会参加の機会を設ける。
- ・医療機関と連携し、感染予防や健康状態の維持、体調不良等の早期発見、早期治癒に努める。
- ・BCPの研修や訓練を計画的に実施し、自然災害や緊急時の対応に備える。

# 障害者支援施設あさひ園 事業計画書

## 1 施設の基本方針

『利用者と職員が一緒に喜び楽しむ「まんぷく」生活』

ご利用者が自分らしい生活を継続でき、心地良い気持ちで過ごしていただく事で、心の「まんぷく」を感じていただけるように努める。苦楽をともにしながら思いを共有し、笑顔と心のこもったホスピタリティあふれる接遇を行う。

## 2 施設の重点目標

### ・働きやすい職場づくり

コミュニケーションを大切にし、お互いの立場や考えを理解し合い、話しやすく相談しやすい雰囲気作りと風通しの良い環境、お互いを称賛し合える風土を作る。それにより、チーム力の向上や生産性の向上につなげていく。また、職員が気持ちに余裕をもち、個々に与えられた役割に応えられるよう努め、質の高いサービスを継続的に提供していく。

## 3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
施設入所支援	20 人	98.0%	19.6 人／日	
短期入所	4 人	100.0%	4.0 人／日	
日中一時支援	4 人	50.0%	2.0 人／日	

## 4 その他

- ・老朽化にともない、設備等の修繕や入れ替えを定期的に行う。
- ・感染予防や健康状態の維持に努める。

# 障害福祉サービス事業フルールこすど 事業計画書

## 1 施設の基本方針

『「利用者のこうなりたい！○○したい！」に応えたい』

地域で生活する障がいのある方々が、希望をもって自分らしく暮らしていける環境を提供する。

利用する方が、自分も社会の一員だと言うことを感じながら安心して過ごせるよう、職員やご家族、関係者が深いつながりと信頼関係をもって支えていくことを目指す。

多様なニーズに応えるために、施設としての特色を持ち、利用する方全員が夢を叶えられるよう未来のある施設作りを行う。

## 2 施設の重点目標

・接遇の質の向上に努める

職員の接遇向上を目指し、言葉遣いや振る舞いなど社会人としての基礎的な部分から専門性を活かした支援が提供できるように取り組む。

職員全体で接遇を振り返り、職員一人ひとりが良いお手本となれるよう意識する。

日々の業務において、職員同士の会話や情報提供の場面でも気持ちの良い言葉遣いをする。

ご利用者やご家族から「フルールに任せて安心」と思われる態度で接する。

## 3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
生活介護	20 人	85.0%	17.0 人／日	
就労継続支援 B 型	35 人	95.0%	33.3 人／日	
相談支援センターフルール			27.1 人／月	

## 4 その他

・小須戸、矢代田地域の自治体からの委託作業を通じて、地域とのつながりを強化するとともに、ご利用者の工賃向上につなげていく。

# 障害福祉サービス事業わかばの家 事業計画書

## 1 施設の基本方針

「笑顔が溢れる場所へ」

ご利用者の願いや想いを職員と紡ぎ、楽しく笑顔が溢れるふれあいの場を目指す。職員も気持ちよく働くために家庭とのワーク・ライフ・バランスを保ちながら、ご利用者、職員お互いが働き甲斐を感じられる職場にする。感謝の気持ちを忘れず、ともに人間的成長ができるように努める。

## 2 施設の重点目標

・基本に立ち返った業務の見直しとサービスの質の確保

法人で最も歴史ある就労継続支援B型・生活介護の事業所として、基本的なことを確実にこなし、サービスの質において派手さはないが、安心してご利用者を任せられる揺るぎない施設を目指す。

限られた人員で効果的・効率的にご利用者を支援できるよう、間接業務のパターン化や簡素化を進め、時間や労力を割くべき本来業務に重点を置くことができる仕組みを構築する。また、職員間の報告・連絡・相談の充実、コミュニケーションスキルの向上に取り組み、ミスやトラブルの発生しにくい土壌を形成するとともに、全職員の仕事に対する姿勢や業務上求められる共通認識の水準を高めていくことで、ご利用者やご家族に対していつ、誰が対応しても、いつも安定したサービスを提供できる体制づくりに取り組む。

## 3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
生活介護	14 人	100.0%	14.0 人／日	
就労継続支援B型	45 人	98.0%	44.1 人／日	
日中一時	6 人	2.0%	0.1 人／日	
相談支援事業			100 件／月	

## 4 その他

・ご利用者の年齢が上がったこともあり、医療的な面から不安定になるケースも増加傾向にある。また、行動障がいによる影響が大きいご利用者も利用されていることから、研修や急変時の訓練を重ね、対応の向上に努める。

# 障害福祉サービス事業ネクサス・わかば 事業計画書

## 1 施設の基本方針

「ネクサスに関わるすべての人がハッピーに！」をモットーに、ご利用者はもとよりご家族や職員も幸せになれる施設を目指す。

ノーマライゼーションの理念をもとに、どのような障がいがあっても誰もが個性を生かし楽しく、元気に笑顔で利用できる施設づくりを行う。また、それぞれの活動を通し、社会性・協調性・自主性・積極性など人間的な成長もできるよう支援する。

## 2 施設の重点目標

・居心地の良い空間を創造する

利用者の個性（特性）を理解し、個々に「居心地の良い空間」を提供できるよう、ご利用者に寄り添いどのような支援が必要なのか、常に問題意識を持ち創意工夫や配慮、行動ができるようにする。

児童支援について、「家庭」「教育」「福祉」の連携・協働ができる関係性を築き、個々のニーズに沿った支援を行う。医療の必要な児童に対しても、地域資源を活用しながら放課後等の居場所づくりをしていく。

また、職員の働きやすさ向上のために、定期的に業務の見直しを行うことはもとより、お互いを認め合い、褒め合い、尊重し合い、何事も「自分ごと」として捉えられる思いやりのある関係性を常に意識する。そうすることで、気持ちに余裕ができ職員のモチベーションをあげるとともに質の向上にもつなげていく。

## 3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
生活介護	40 人	99.0%	39.6 人／日	
就労継続支援 B 型	20 人	99.0%	19.8 人／日	
短期入所	12 人	143.0%	17.1 人／日	
放課後等デイサービス	10 人	98.0%	9.8 人／日	

## 4 その他

- ・各種補助金を積極的に活用し、ご利用者の障がい特性に応じた環境整備と職員が支援しやすく働きやすい環境を整えサービスの質を高める。
- ・地域の社会資源として、積極的に緊急時の受入れや体験の場を提供し新潟市のニーズに対応していく。



# 障害福祉サービス事業メイプルかめだ 事業計画書

## 1 施設の基本方針

「地域で生活する障がい者の社会参加に向けた第一歩をサポートし、自分らしい暮らしについて考えることのできる活動と時間を提供する」

メイプルかめだは、『就労支援』と『生活支援』を通して、地域で生活している障がい者が自分らしいライフデザインを描き、理想とする暮らしを実現することができるような社会参加のきっかけを提供するとともに、社会人として自立した生活の営みに必要な力を得ることができる社会資源であることを目指す。

## 2 施設の重点目標

- ・ご利用者に対する手厚い個別支援体制

職員は、ご利用者の希望（目標）の達成が可能となる機会や環境および支援の提供について取り組んで行く。それについては、実効性のある個別支援計画を作成すること、及び計画を着実に実行できる質の高いサービスを提供することが必要不可欠なため、職員一人ひとりが常に意識しながら業務を行う。

また、確実に記録を残すことでその支援経過を把握するとともに、より適正な目標の達成度や支援課題の確認（アセスメント）を実施する。

## 3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
就労移行支援	7 人	90.0%	6.3 人／日	
就労継続支援 B 型	40 人	95.0%	38.0 人／日	
自立訓練（生活訓練）	13 人	80.0%	10.4 人／日	
日中一時支援	3 人	1.0%	0.03 人／日	
就労定着支援			6.0 件／月	
共同生活援助	14 人	97.0%	13.5 人／日	

## 4 その他

- ・新設の「就労選択支援」について情報収集に努め、指定事業所となるべく準備を進める。
- ・「江南区商・農・福連携推進事業」との関わりを強化して、就労継続支援 B 型事業ご利用者の工賃向上に努める。
- ・共同生活援助（グループホーム）利用に関する費用（水道光熱費及び食費）について、物価高騰の影響等を精査した上で値上げの必要があるか検討する。

# 障害福祉サービス事業メイプル・ぷらす 事業計画書

## 1 施設の基本方針

「共に働き、共に成長」

ご利用者、職員が一緒に働きながら、成長できるように日々を過ごす。

一般企業での就労が困難なご利用者でも、それぞれの適性に配慮した幅広い作業の提案や環境整備、職員による適切な支援を行うことで、活躍の場を見出し、継続的で安定した就労の実現を目指す。

さらに、ご利用者の能力開発、心身の健康管理、体力の向上に努め、就労に見合った対価となる工賃の獲得とさらなる向上を常に意識し、やりがいを感じながら自立した生活を送れるよう支援することを通じて、職員自身も経験を積み、さらなる成長を目指す。

## 2 施設の重点目標

・施設の位置付けと支援の方針の具体化による経営の健全化

近年のご利用者層の推移や障がい者の雇用をめぐる情勢の変化に理解を深め、働きたい施設として関心を持ってもらうため、そして長く働きたいと感じてもらえるためには何が必要かを改めて考え、施設の位置付けを明確にしていく。その上で、これまでの活動や作業、支援の考え方や姿勢を見直し、ご利用者が定着し、活動先施設から求められる労働力を安定して供給できる施設となることで、経営の健全化を目指す。

このために、職員研修の機会を増やし、増加傾向にある精神障がいを抱えるご利用者に対する理解を深めるとともに、活動先拠点ごとにその魅力ややりがい、支援のノウハウを職員自ら発信して施設内で共有することで、支援の幅を広げるよう取り組む。

## 3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
就労継続支援A型	15人	80.0%	12.0人／日	
就労継続支援B型	37人	85.0%	31.5人／日	

## 4 その他

- ・ご利用者の状態に応じて作業の選択肢を増やすため、施設内で行える作業を充実させるとともに、障がい特性に配慮した個別スペースの確保を進める。
- ・老朽化した空調設備の更新工事を行う。

# 地域活動支援センターかめさん 事業計画書

## 1 施設の基本方針

「マイライフ、マイペース、マイプラン」をモットーに、自身の障がいを受け入れるきっかけや本来の自分を見つけ出す機会を提供する』

地域で生活している障がい者に安心して活動できる「場」・過ごせる「場」を提供する。また、ご利用者やご家族から様々な悩みごとや困りごとについて相談を受け、必要な時には関係機関と連携をとりながら助言等の相談支援や生活スキルの向上を目指した行事、社会参加等の機会を提供する。

さらに、就労継続支援B型等の次のステージに向かおうとすごご利用者の後押しができるよう、ここでの活動がステップとしての「場」にもなれるようにする。

## 2 施設の重点目標

- ・ご利用者の社会参加を応援する

ご利用者に対して、地域で行なわれているイベントや施設が企画する外出行事等に積極的な参加を促していく。このことが、地域住民との交流の場を増やすことにつながり、ご利用者の社会参加のきっかけづくりとなる。更に、ご利用者と地域住民が気持ちよく共生していける関係を構築することを目指していく。

## 3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
地域活動支援センターⅢ型	20 人	75.0%	15.0 人／日	
サポート相談			50 件／月	

## 4 その他

- ・コロナ禍で開催が押さえられていた各種イベントが最近再開し始めたことに併せて、施設としての出店の機会を増やしていく。
- ・新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉からの問合せや見学申し込みがコンスタントにあるため、他のセンター（東及び中央）にも働きかけて新規獲得につなげていく。

# 四つ葉こども園 事業計画書

## 1 施設の基本方針

- 「子どもを第一に考え、遊びと生活を通して生きる力・人と関わる力を培う」
- ・楽しく落ち着いた環境の中で、たくさんの愛情を注ぎ丁寧で温かい教育・保育を提供する。
  - ・一人ひとりを大切にし、生命の保持と情緒の安定を図っていく。
  - ・自然に触れ、体験を通して自ら考えたり、作ったりして豊かな感性を育てる。
  - ・運動機能を向上させ、自ら安全を守り危険を回避する運動機能を身につける。
  - ・子ども、保護者、保育者、地域が共に育ち合い、安心して預けられるこども園を目指す。
  - ・こども園の保護者、地域の子育て家庭を関係機関と連携しながら見守り支える。

## 2 施設の重点目標

「子どもの最善の利益（幸福）の追求」

一人ひとりの子どもの最善の利益を追求するために、全職員が高い倫理観と専門性を持ち、養護と教育を一体的とした教育・保育に努める。

一人ひとりの子どもの育ちや気持ちに寄り添いながら、遊びと生活を通して成長・発達を支援する。また、乳児は担当制の中で愛着関係を結び、あたたかく受容的で応答的な保育を行う。

## 3 達成数値目標

実施事業	定員	目標数	備考
こども園	115 人	119 人	保育所型
一時預かり		2 人／日	拠点園

## 4 その他

- ・保育 ICT システムを活用し、更なる職員の負担軽減及び保護者の利便性の向上に努める。

# 地域子育て支援センターにこっと 事業計画書

## 1 施設の基本方針

「にこにこ☆にこっと」

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を提供し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。

地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。

## 2 施設の基本事業

- ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- ・子育て等に関する相談、援助の実施
- ・地域の子育て関連情報の提供
- ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施（月 1 回以上）

## 3 達成数値目標

実施事業	目標数	備考
子育て支援センター	20 人／日	一般形
子育て相談・援助	5 件／月	

## 4 その他

- ・老朽化した空調設備の更新工事を行う。